

鷺池葵

見えないものに目をこらすための

凧が
葉を落としてゆくよ
もと来た場所に
還してゆくよ
根っこに
力を養うために
いのちを
しずかに
深めるために
ああ
誰かが
囁くよ
夏輝いた
枝々は
風に洗われ
身軽になるが
いのちの大地は
根を抱いて
いちばん
近くに
見えないものに
目をこらす意味
今　ここの
芽吹き
の兆しを